

## 医・職・充

草野 潔  
(本町出身/神奈川県支部)

私は、昨年春から地場産業のブイエス科工(株)の東京本社と小野町工場を兼務することになり、月に数日間ですが小野町時間を過ごしています。

町の印象は、登下校時を除くと子どもの姿が町中に見えず、子どもたちのはしゃぎ声が聞こえない静けさです。原発のこともあるのかなあ。

昨年の初夏の頃でしょうか、工場の事務所から見える満開のフジの花に見惚れて「昔からこんなだったっけ」と独り言を言うと、社員から一言「それだけ山の手入れをする人がいないということですよ」。

町中にも里山にも人を見かけることが少なくなってしまう小野町です。

私が中学三年生だった

昭和43年の小野中の生徒数は、一学年10クラス約500人の生徒であふれていました。

当時から約6千人もの人口が減少した現在では、どうしようもないことでしょう。

話は変わり、私が住む地元町内会でのこと。

三月のある日に、毎年恒例の子供会の行事「新入学児童を祝う会」でモチつきをしたところ、100人以上の子どもたちが集まり大変にぎやかでした。

10年前に114所帯のマンションが一つできてから、毎年10数人の新一年生が生まれています。子どもが多くなることでいろいろな行事に活気あふれ、町内会長をはじめ学校関係者からとても喜ばれています。

人口が都市部へ集中する中、日本中の農山漁村の過疎化は避けようがない中で、まして小野町に過去のにぎわいを取り戻そうとしても名案は浮かびません。

どうにもならないことなのかもしれないと思いますが、自分なりに考える町の活性のためのキーワードは「衣・食・住」が充実した今「医療・職業・充実」かなあなどと考えています。



### 平成25年度 小野町一般廃棄物最終処分場周辺のダイオキシン類調査結果

平成25年度に町が実施した一般廃棄物最終処分場(小野ウエストパーク)周辺のダイオキシン類調査結果は次のとおりです。

すべての調査場所において、国の環境基準値を下回っています。

実施場所	試料名	調査結果		環境基準値 (pg-TEQ/L)
		第1回 (平成25年7月16日実施)	第2回 (平成25年11月19日実施)	
最下流の沢	水質	0.20	0.15	1
排水沢	水質	0.067	0.075	1
最終放流口	水質	—	0.075	1
最下流の沢	底質	0.55	1.0	150
1号堰堤直下	底質	0.65	0.55	150
処分場正門前	土壌	9.9	—	1,000
搬入路第5カーブ緑地	土壌	—	4.1	1,000

閻町民生活課 ☎ 72-6933